

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 液体	最新改定日 2017年12月27日
--------------------	-----------------	----------------------


		
安全データシート		

作成日：2017年12月27日

### 1. 化学品及び会社情報

製品名/化学品の名称	WD-40 液体 (中国製造)
会社名	WD-40 Company
住所	9715 Business Park Ave San Diego, California, USA Post code 92131 電話: +1-800-448-9340 +1-858-251-5600
24時間緊急電話番号	緊急専用: 1-888-324-7596 (PROSAR) 漏えい時: 1-800-424-9300 (Chemtrec) 国際電話: 1-703-527-3887
推奨用途	潤滑剤、浸透剤、防湿剤、表面腐食防止剤

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	区分1
GHSラベル要素		
絵表示		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	H227 可燃性液体 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ	
注意書き		
【安全対策】	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P280 保護手袋を着用すること。	
【応急措置】	P301+P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 P331 無理に吐かせないこと。 P370+P378 火災の場合: 消火するために、噴霧水、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火剤を使用する。	
【保管】	P403+P235 換気のよい場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 P405 施錠して保管すること。	
【廃棄】	P501 内容物、容器を地方自治体及び国の法規に従って廃棄すること。	

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
-------------	-----

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 液体	最新改定日 2017年12月27日
--------------------	-----------------	----------------------

化学名/一般名	CAS番号	含有量 (wt.%)	GHS 分類
水素化精製軽質 留出物(石油)	64742-47-8	50-70	引火性液体:区分4 吸引性呼吸器有害性:区分1
非有害性成分	混合物	30-50	非有害性

#### 4. 応急措置

飲み込んだ場合	吸引性呼吸器有害性。吐かせてはならない。直ちに医師、救急センター又は WD-40 安全ホットライン 1-888-324-7596、又は直ちに 24 時間中国の化学物質事故の緊急対応ホットライン 0532-83889090 に連絡すること。
眼に入った場合	水で十分に洗眼する。コンタクトレンズを付けている場合は、洗浄開始から5分後に外し、さらに続けて数分間洗うこと。刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗浄する。もし刺激又は、継続する場合は、医師の手当てを受ける。
吸入した場合	刺激を感じたら新鮮な空気のところへ移動する。もし刺激があり、他の症状が生じ、又は継続する場合は、医師の手当てを受ける。
最も必要な徴候症状 (急性、遅発性)	眼に刺激があるかもしれない。皮膚接触は皮膚の乾燥を引き起こす可能性がある。ミストを吸入すると、咳、頭痛やめまいを引き起こす可能性がある。飲み込むと有害又は致命的である。飲み込んだ場合は、吸引されて肺の損傷を引き起こす可能性がある。
医師に対する特別な 注意事項	飲み込んだ場合は、緊急の医療措置が必要である。

#### 5. 火災時の措置

消火剤	噴霧水、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火剤を使用する。棒状水または氾濫するような多量の水を使用してはならない。燃焼している製品が表面に浮かび、火災が拡大する。
特有の消火方法	消火を行う者は常時、圧力自給式呼吸器と完全防護服を使用する。火災に曝らされている容器を水で冷却する。
特有の危険有害性	可燃性液体。蒸気は空気より重く、表面を移動して離れた着火源まで到達し、フラッシュバックを起こすことがある。蒸気と空気の混合物は、密閉された空間で爆発の危険を引き起こす可能性がある。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	すべての着火源を取り除き、付近を換気すること。適切な保護具を着用すること(8項を参照)。
環境に対する注意事項	要求に応じて当局に漏出を報告すること。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	液体を、不活性な吸収剤を使用して封じ込めて集めて廃棄用の容器に入れること。漏出区域を徹底的に浄化する。要求に応じて当局に漏出を報告すること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意 事項	眼との接触を避ける。長時間の皮膚との接触を避けること。蒸気やミストの吸入を避けること。適切な換気をする。熱、火花、熱面および裸火から遠ざけること。取扱い後は水と石鹼で十分に洗うこと。使用していない場合は容器を

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 液体	最新改定日 2017年12月27日
--------------------	-----------------	----------------------

	密閉すること。子供の手の届かないようにすること。
安全な保管条件 および混蝕危険 物質	涼しく、よく換気された場所で、混触危険物質と離して保管すること。NFPA30 クラス IIIA 液体、消防法 第4類第三石油類

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	成分	ばく露限界値
	脂肪族炭化水素	1200 mg/m <sup>3</sup> TWA (製造者推奨)
	非有害性成分	未確定

一般消費者用としての管理	
技術的管理	よく換気された場所で使用すること。
保護具 眼	眼との接触を避けること。安全メガネまたはゴーグルが推奨される。
皮膚	皮膚との長時間の接触を避けること。皮膚との接触の可能性がある操作では耐化学薬品手袋が推奨される。
呼吸器	換気のよい場所で通常使用の場合、呼吸器保護具は必要ない。
多量に扱う場合または職場での使用の場合の管理	
技術的管理	ばく露水準を作業環境許容濃度以下に維持するために、適切な全体排気装置及び局所排気装置を使用すること。
保護具 眼 皮膚 呼吸器	眼との接触の可能性のあるところでは安全ゴーグルが推奨される。 耐化学品手袋を着用すること。 換気が適切であれば不要である。もし作業環境許容濃度を超える場合は、法規や公的基準(例えば JIS T8150 など)に準拠した呼吸器を付けること。呼吸保護具の選択と使用は、汚染物質の種類、形状および濃度に基づいて行わなければならない。 労働安全衛生法および JIS T8150 に準拠すること。
衛生対策	取扱後は水と石鹼で洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色	淡琥珀色の液体
臭い	マイルドな石油臭
臭いの閾値	確立されていない
pH	確立されていない
融点/凝固点	確立されていない
沸点/範囲	147-663 °C
引火点	79.5 °C
蒸発速度	確立されていない
燃焼性(固体、気体)	確立されていない
VOC	65%
燃焼限界	下限: 0.6 % 上限: 5.0 % (脂肪族系炭化水素)
蒸気圧	0.023 kPa @ 20 °C
蒸気密度	6.2
比重	確立されていない
溶解性	水に不溶

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 液体	最新改定日 2017年12月27日
--------------------	-----------------	----------------------

分配係数;n-オクタン/水	確立されていない
自然発火温度	239 °C
分解温度	確立されていない
粘度	3.72 mm <sup>2</sup> /sec @ 40 °C
流動点	-42 °C

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では非反応性
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない
避けるべき条件	熱、火花、炎及び他の発火源を避けること。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素及び二酸化炭素。

## 11. 有害性情報

過剰ばく露による症状	
吸入	高濃度では、鼻や呼吸器への刺激や、頭痛、めまいや吐き気などの中枢神経系への影響を引き起こす可能性がある。意図的な乱用は有害または致命的である可能性がある。
皮膚への接触	長時間及び/又は繰り返し接触すると、軽度の刺激や皮膚炎の可能性のある脱脂を生ずる可能性がある。
眼への接触	接触により眼に刺激を与える可能性がある。赤眼や涙が出る可能性がある。
飲み込み	本製品は低経口毒性である。嚥下は胃腸刺激、吐き気、嘔吐、下痢を引き起こす可能性がある。本製品は、吸引呼吸器有害性である。飲み込んだ場合、肺に入り、化学性肺炎、重度の肺の損傷や死亡の原因になる可能性がある。
慢性症状	ないと予想される。
発がん性物質の状況	いずれの成分も IARC、NTP、ACGIH または OSHA による発がん性物質又は疑いのある発がん性物質として記載されていない。
生殖毒性物質	いずれの成分も生殖有害性とはみなされない。
経口急性毒性(推定): 経口 >5,000 mg/kg; 経皮 >2,000 mg/kg 成分の評価に基づく。 本製品は確率された基準により毒性として分類されない。吸引性呼吸器有害性である。	

## 12. 環境影響情報

環境有害性	現在のところ水生毒性に関するデータは利用可能ではない。本製品の成分からは水生生物に有害であるとは考えられていない。葉に塗ると、呼吸や蒸散を妨げることによって草や小さな植物を殺す可能性がある。本製品は魚に有毒ではないが、窒息死の原因となる鰓の魚体を覆うことがある。
残留性・分解性	成分は生分解性であると予想される。
生体蓄積性	成分の評価からは生体蓄積性はないと予想される。
土壌中の移動性	データなし。
その他の有害性	知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 液体	最新改定日 2017年12月27日
--------------------	-----------------	----------------------

廃棄時に適切な分類と廃棄方法を決定するのは発生者の責任である。国際、国、地方自治体の規制に従って廃棄すること。

#### 14. 輸送上の注意

国連危険物輸送勧告 IMDG ICAO	規制されない 規制されない
輸送上の注意	WD-40 カンパニーは、航空機輸送の場合の容器の差圧適合試験に適合する試験を実施していない。特定の審査が行われない限り、製品を航空機輸送することを推奨しない。

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法	第3種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号)【54 ミネラルスピリット】 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)【380 灯油】 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)【380 灯油】
消防法	危険物第4類第三石油類

#### 16. その他の情報

改訂版	版 1.0
教育訓練の指示	適用外
詳細情報	この情報は、現時点の我々の知識に基づいている。この SDS は作成されており、本製品のみを対象としています。
免責事項	雇用者は、この情報を収集した他の情報の補足としてのみ使用し、適切な使用を保証し、従業員の健康と安全を守るために、この情報の適合性を独立して判断する必要がある。この情報は保証なく提供されており、この安全データシートに準拠していない製品、または他の製品やプロセスと組み合わせて使用する場合には、ユーザーの責任が生じます。
改訂日:2017年12月27日 初版:2017年9月8日 作成者: Industrial Health & Safety Consultants, Inc. Shelton, CT, USA	